

会として、共進会が重要な役割を果たしていることがうかがえます。また、当時の資料には『生産費を低減するためには、強健で連産性高く優れた泌乳能力を持つことが有力な要素である』との記述もあり、改良に対する基本的な考え方は不変なのだと改めて感じました。

今回の全共の審査講評では〈大きい〉〈長い〉〈標準以上〉〈〜を超える〉〈充分な〜〉など、出品牛の大型化に関する説明が随所にあります。第1回全共から15年が経過し、改良が進み飼養管理技術の向上とともに農業近代化政策が図られている最中での全共であり、それらの効果が具体的に現われて来た結果なのだろうと想像しましたが、「どの程度の大形化なのだろう?」、そして、第1回から前回の第12回全共までに、半世紀54年の歳月が経過している現在、「その差は果たしてどれだけあるのだろうか?」などの疑問がわき、次のような整理がされています。

表は、第1回から第12回までの全共出品経産牛の【体高】

と【胸囲】について「2歳」・「3歳」・「4歳以上」に分けて平均値を求めたものです。

全共開催毎経産牛の年齢区分別「体高」・「胸囲」(平均値) 単位: cm

		第1回 1951年	第2回 1956年	第4回 1966年	第8回 1985年	第12回 2005年
体高	2歳	135.4	140.6	138.5	146.3	151.1
	3歳	138.8	139.0	140.8	147.7	153.7
	4歳以上	138.3	141.4	143.3	148.8	153.0
胸囲	2歳	190.1	199.7	193.3	197.1	199.9
	3歳	192.3	198.9	199.9	202.7	205.8
	4歳以上	197.7	201.0	205.4	207.2	215.0

【成績】

- 第1部(雄牛) 名誉賞 宇都宮潤 (北海道厚別)
- 優等賞1席 竹田剛 (北海道早来町) デコールフラシーアイ デアル
- 第2部名誉賞 山田一英 (北海道早来町) スカイラクエル シージュリエット
- 優等賞1席 西倉栄吉 (北海道清水町)
- 優等賞2席 竹田幸夫 (北海道早来町) スプリングマジックウ



スカイラクエルシージュリエット  
1歳3ヵ月 早来町: 山田一英

- 第3部優等賞1席 山田一英 (北海道早来町) マーガレットレイ プンベルモン
- 優等賞2席 木村利彦 (北海道札幌)
- 第4部優等賞1席 花沢峯 (千葉県) 優等賞2席 長浜久 (北海道札幌)
- 第5部優等賞1席 町村啓貴 (北海道江別) 優等賞2席 黒沢勉 (北海道札幌)
- 第6部名誉賞 町村啓貴 (北海道江別) 優等賞1席 宇都宮潤 (北海道厚別)
- 第7部優等賞 大窪佐利 (宮崎県)
- 第8部名誉賞 青井治範 (石川県)
- 第9・10部名誉賞 町村啓貴 (北海道江別)

〔名誉賞受賞者の言葉〕

3部門の名誉賞(チャンピオン)を受賞した町村啓貴氏(江別市)が語った受賞の喜びのインタビュがデーリイマン誌に載っていましたので原文のまま紹介します。

私が乳牛の改良繁殖という仕事を始めてから、随分長いことですが、非常にむずかしい仕事であり、またやり甲斐のあることでもあります。優勝することは望ましいことですが、自分一人の力でできるものではなく、自然によくしていくという長い年月の忍耐がいるものです。入賞牛は天皇賞の荣誉に浴しており、誠に感激であります。これは最近急にアメリカから輸入したのではなく、真面目に20年もの年月をかけて改良したもので、この母系についていえば57年もかけて繁殖してきたものなのです。これには大変な努力と、乳牛の改良繁殖に対する興味が必要ならばならないでしょう。また乳牛の系統は系統的に間違いないことと、

交配する種雄牛の選択が大切でありますから、そういう方向を見定めて、努力していくことよりないものと考えます。私は二つのラインで改良をやってきましたが、生涯を通じて価値ある仕事であったと感じております。

【酪農だより(ホルスタイン通信)より抜粋】

安平町実行委員会事務局  
(安平町役場農林課)

☎(2)2515

# 緊急告知

全日本ホルスタイン共進会延期

宮崎県で牛や豚などの家畜伝染病「口蹄疫」の発生を受けて北海道実行委員会は5月28日、感染拡大防止対策として本年度の共進会開催を延期することに決定しました。  
なお、詳しい内容については7月号でお知らせします。